



長崎市立三原小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～
「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」



MIHARA TIMES

令和4年4月6日発行

文責 校長 宮原 友彦

校長2年目となりました宮原友彦と申します。昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、運動会が春から秋へ、さらに9月から10月へ2度も変更となり、大変ご迷惑をおかけしました。また、GIGAスクール元年で、クロームブックの導入に始まり、AIドリルの試用、リモート学習もスタートするなど、激動の1年となりました。

明るく元気な「あいさつ自慢」の子ども達を、私たち教職員と、あたたかく支えてくださる地域や保護者の皆様と、『寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ！』を合言葉に、笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子を育ててまいりたいと思います。また、今年度は『思いは見えないけれど、思いやりは見える。思いを伝える努力をしよう！思いをくみ取る努力をしよう！思いを行動まで高めて思いやりにしよう！』というキーワードをあげて、「誇りをもち、主体的で自律できる子どもを育てるように取り組むことになりました。

このMIHARA TIMESは、子ども達の日常や学校からのお願い、校長としての考えなども掲載していきます。できるだけソフトな感じに仕上げたいと思いますので、気楽な感じでお読みください。（時には、耳の痛い話題もあります…。(^_^;)）どうぞよろしくお願いいたします。

新しく赴任しました。よろしくお願いたします。

- 【教 頭】濱辻 元子（長崎市教育委員会【長崎市立高島幼稚園より】）
- 【教 諭】一瀬理恵子（長崎市立長浦小学校より）
- 【教 諭】増田ひかる（西海市立西海小学校より）
- 【事務主査】坂中 敏夫（長崎市立式見小学校より）再任用
- 【特別支援教育支援員】島田 泉（長崎市立西山台小学校より）
- ※英語専科 田川優美子（西浦上小、西山台小、三原小を兼務）



また、新6年生に平野 澄海（ひらの すかい）さん、新5年生に中山 陽仁（なかやま はるひと）さん、新3年生に中山 柚希（なかやま ゆずき）さん、新2年生に赤瀬 爽（あかせ さや）さんの4名の転入生を迎えました。また、新2年生にカナダから深堀 羅仁（ふかほり らに）さんが、4、5月の2ヶ月の予定で、体験入学をすることになりました。さらに、水曜日には新1年生21名を迎え、全校児童167名で令和4年度のスタートを切ることになりました。引き続きの御支援と御協力をお願いいたします。

令和4年度のスタートです！ 進級おめでとうございます

保護者の皆様、お子様の進級おめでとうございます。令和4年度は、コロナ禍も3年目となりますので、「コロナ禍だからあきらめる」のではなく、「コロナ禍でも知恵を絞ってウィズコロナで進んでいく」というスタンスで、考えていきたいと思っています。以下に今年度の変更点で大きなものをお知らせします。

- ①AIドリル「eライブラリ」がほぼ全長崎市立小学校で導入となります。そのため、教材費が例年より少し高くなるため、計算ドリルを今年度は購入せず、eライブラリを積極的に使用するためにも、クロームブックの持ち帰りをスタートする予定です。
- ②プールの老朽化により、水泳指導は滑石のスイミングクラブNAS長崎と委託契約を結び、貸切バスで通うこととなりました。また、プールを2コース、インストラクターに依頼し、担任と協力しながら授業を進めることとなりました。
- ③英語専科の田川優美子先生が入ることになり、4、5、6年生の外国語活動、外国語科は担任ではなく専科として学びを進めることになりました。

専門家やAIの力も借りて、まさに『寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ！』で子どもたちを育てていきます。今年度もご理解ご協力をお願いいたします。

三原スタンダード 『チームMIHARA』

寄り合って、寄り添って、みんなで育て みんなで育つ！ ～笑顔いっぱい・真剣いっぱい・感動いっぱいの三原っ子～

【第5次総合計画】基本施策G1「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

→2025年にめざす姿「子どもが長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」
個別施策 G1-1「確かな学力」の向上を図ります G1-2 健やかな心と体を育成します G1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります
G1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します

【長崎市教育振興計画】

1 心の教育の充実 2 確かな学力の向上 3 健やかな体の育成 4 信頼される学校づくりの推進 5 教育環境の充実

学校教育目標 「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」
～確かな学力、たくましい体力、豊かな心力をもつ三原っ子～

確かな学力（真剣）

- 「主体的・対話的で深い学びの実現」
 - ①知識・技能の習得
 - ②思考力・判断力・表現力の育成
 - ③学びに向かう力・人間性の涵養
- 本校独自の「学びのスタイル」の確立
 - ・学習の構え ・話す・聞くの習慣化
 - ・ハンドサイン
- 単元を見通した授業づくり（全教科）
- 「対話」を取り入れた学びの工夫
- 「学習の約束・心構え」「家庭学習の手引き」の確認と活用 ●ICT活用

たくましい体力（感動）

- 体育の授業改善による体力向上
- 長崎市カリキュラムを取り入れた楽しい授業づくり
- 運動の習慣化
 - ・外遊びの奨励 ・縦割り遊びの活性化
- 健康づくり
- 基本的生活習慣の定着
- 保健的習慣の定着・フッ化物洗口の実施
- 食育
- 望ましい食習慣と感謝の心の醸成

学校が目指す子どもの姿

- ・み：みんななかよしな子ども（徳）【笑顔いっぱい】
- ・は：話す・聞くことを大切にする子ども（知）【真剣いっぱい】
- ・ら：ラストまでがんばる子ども（体）【感動いっぱい】

豊かな心力（笑顔）

- 特別の教科「道徳」の授業実践の充実
- 特別支援教育の理解と充実
- 「あ・は・は・は運動」 ●仲よし触れ合いあいさつの定着
あいさつ へんじ あったか言葉 「あいさつは心と心の
はやね はやおき あさごはん キャッチボール
はきものそろえ いいきもち
はさみあるきで あんぜんに
- 「さ・し・す・せ・そうじ」の徹底
- こころの天気・学校大好きアンケート ●あったか言葉の醸成
- 「はさみあるき」の徹底 ●くつならべの徹底
- 「三原っ子の約束」の確認と活用

目指す学校像

- (1) 教職員が有機的に結びつき機能する信頼される学校
- (2) 学校支援体制のある学校
- (3) 効果的で美しい環境が整備された学校
- (4) 家庭・地域と連携する学校
- (5) 業務の無駄を見直し、子どもにとって本当に必要なものは

目指す職員像

- (1) プロとしての資質を磨き続ける教職員
- (2) 新学習指導要領に基づき実践する教職員
- (3) 子どもに寄り添い信頼関係を構築する教職員
- (4) 基本的な学習・生活習慣、豊かな心を身に付けさせる教職員
- (5) 限られた時間で、合理的かつ前向きに働こうとする教職員

【話す・聞くことを大切にする子ども】

- 授業改善による学力向上
- 「あじさいスタンダード」の具現化、充実を推進
- 「言語活動」の重視
- 授業研究による指導力の向上
- 基礎的・基本的な学習内容の定着（基礎学力の定着）
- 図書館教育の充実
- 外国語活動の充実のための連携
- 校内研修・現職教育の活性化

【みんななかよしな子ども】

- 道徳教育の充実と推進
- 特別支援教育の充実
- 基本的生活習慣の形成と自発的な実践態度
- 思いやりのある心豊かな子どもの育成
- 新しい平和教育の理解と実践
- いじめ対策基本方針に基づいた確実な対応・実践
- 係・委員会活動、及び「なかよしタイム」の活性化
- 児童会活動における自治力の高揚
- 「あ・は・は・は運動」の習慣化

【ラストまでがんばる子ども】

- 運動に親しむ態度の育成
- 保健的習慣の確立
- 安全教育の推進
- 給食習慣の確立と感謝の気持ちの醸成
- アレルギー児童への確実な対応
- 定期的な縦割り遊びの実施
- 外遊びの奨励
- 「あじさいスタンダード体力づくり編」の具現化、充実を推進

「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携

子どもにとって
大好きな学校
「三原小は楽しいね」

保護者にとって
頼りになる学校
「三原小に子どもを通わせて良かった」

地域にとって
自慢できる学校
「三原小はすごかたばい」

職員にとって
ありがたい学校
「三原小に勤務できて良かった」